

2026 年度第 1 回 総会 議事録

2026 年 5 月 30 日 (金)

大和大学 (進行: 山元理事)

第 150 回新大阪吹田大会の状況報告〈大会実行委員長〉

- ・ 申込者情報登録者数 567 名 参加申込登録者数 528 名 (最終)

総会議事録の扱いについて〈理事長〉

- ・ 三重大会総会以降、総会議事録を学会 HP で公開している。今回も作成される。

新役員体制の紹介〈理事長〉 * 2025 年度第 3 回常任理事会承認、学会 HP に氏名掲載

理事長 藤森裕治

常任理事 甲斐雄一郎 植山 俊宏 (相談役)

山元 隆春 大会部門・教科教育学コンソーシアム

児玉 忠 大会部門

長田 友紀 広報部門・電子投稿システム担当

幸田 国広 研究部門

間瀬 茂夫 編集部門

奥泉 香 住田 勝 出版部門

細川 太輔 庶務部門

幹事 森田香緒里 庶務担当

勝田 光 HP 担当・教科教育学コンソーシアム編集委員担当

舟橋 秀晃 資料・議事録担当

監査 上谷順三郎 坂口 京子

【全国区選出理事】 (理事長・常任理事を含む)

植山俊宏 奥泉香 長田友紀 甲斐雄一郎 桑原隆 幸田国広 児玉忠 島田康行

住田勝 高木まさき 鶴田清司 寺井正憲 中村和弘 府川源一郎 藤森裕治

細川太輔 間瀬茂夫 山元隆春

【地区選出理事】

[北海道地区] 上田祐二 佐野比呂己 [東北地区] 成田雅樹 望月善次

[関東地区] 中村敦雄 森田香緒里 森田真吾 [北陸地区] 足立幸子 渡部洋一郎

[東海地区] 砂川誠司 守田庸一 [近畿地区] 吉川芳則 羽田 潤

[中国地区] 古賀洋一 富安慎吾 [四国地区] 幾田伸司 余郷裕次

[九州地区] 河野智文 山元悦子

○藤森理事長より、就任の挨拶、および新役員体制の説明があった。

【審議事項】（議長：幸田前大会実行委員長）

1. 大会要旨集における誤記等の取り扱いについて〈理事長、植山理事、細川理事〉

「【注意】発表要旨の作成にあたって」（2026/3/27）

- ・指定された書式に従っていること
- ・誤字、脱字等のないこと（特に引用した人名）
- ・個人情報の保護を徹底していること
- ・二重投稿、剽窃等の問題がないこと
- ・引用参考文献の誤記のないこと（特に生成AIのハルシネーションにはご注意ください）等

○植山理事より、発表要旨に存在しない引用文献があった件について、常任理事会での対応や経緯の説明があった。

○研究不正とみなされるような引用等の問題に対し、引き続き注意喚起を行う。

○総会の参加者に対し、問題の深刻さを踏まえての注意喚起があった。

●原案通り承認された。

2. 各部門提案（担当常任理事）

（1）今後の学会大会開催について〈理事長・山元理事〉

- ・2026年春 第150回 新大阪吹田大会（大和大学） 5月30日(土)・31日(日)
- ・2026年秋 第151回 鳥取大会（鳥取大学） 10月24日(土)・25日(日)
- ・2027年春 第152回 玉川大会（玉川大学） ~~5-29-30~~ ⇒ 5月22日(土)・23日(日)
- ・2027年秋 第153回(名称未定)大会（福島大学） 月 日(土)・ 日(日)
- ・2028年春 第154回(名称未定)大会（和歌山信愛大学） 5月20日(土)・21日(日)
- ・2028年秋 第155回(名称未定)大会（上越教育大学） 月 日(土)・ 日(日)

○藤森理事長より、上記の開催予定について説明があった。

○各大会を担当する会員からそれぞれ挨拶があった。

小笠原会員（鳥取大学）、山田会員（玉川大学）、佐藤会員（福島大学）

●原案通り承認された。

（2）大会の要旨集と運営のあり方【今後の議論の方向】〈理事長・山元理事・児玉理事〉

「教職大学院化の動向を見据えた今後の学会施策」WG報告書（報告事項）を受けて

- ・若手と現職教員の研究活動を支援する立場から
- ・大会運営を支援する立場から

○山元理事より、説明と今後の議論の方向性の示唆があった。

●原案通り承認された。

(3) 公開講座の移管（研究部門から広報部門へ）について〈幸田理事〉

○2026年度秋（第151回鳥取大会）：研究部門と広報部門による共同開催（試行）。

○2027年度春（第152回玉川大会）：広報部門への完全移管

○森田幹事（研究部門長代理）より説明があった。

●原案通り承認された。

(4) 新広報委員による公開講座の開催方針について〈長田理事〉

○長田理事より、2027年度から本格的に担当すること、従来通り年2回原則オンラインで、大会とは切り離して企画すること、学会の宣伝や社会貢献に資する新しい講座を考えることについて説明があった。

●原案通り承認された。

(5) 決算報告の承認と予算案審議について〈細川理事〉

○細川理事より、2025年決算報告について、資料にもとづき説明があった。

・**会計監査報告〈石田監査・上山監査〉**

○石田監査より、会計監査報告について、資料にもとづき説明があった。

○加えて石田監査より、監査意見2点について説明があった。

1) 雑収入（不明入金）については、HP等で会員に呼びかけること。

2) 運営する学生スタッフには、ボランティア名目でも謝金を適切に支払うこと。

○細川理事より、2026予算案について、資料にもとづき説明があった。

●2025年決算報告・2026予算案ともに原案通り承認された。

【報告事項】

1. 各部門報告（担当常任理事）

(1) 編集部門（間瀬理事）

・『国語科教育』第100集編集状況

投稿論文32（研究18、実践11、資料3）修正再審査10、不採択22

（書評対象図書と執筆者、101集編集委員長の選出、その他報告あり）

・『国語科教育』第100集からの変更点

（『国語科教育』編集規定・投稿要領の再検討、次回編集委員の改選）

○質問：発表要旨の引用文献でのハルシネーション問題は、投稿要領にも反映させるか？

●回答：投稿要領の見直しは予定されているので、検討課題とする。

(2) 庶務部門（細川理事）

・インボイス制度報告資料について

●事業収入がないため、引きつづき免税事業者を維持する。

(3) 研究部門（幸田理事、代理 森田幹事）

- 運営 ・2026 年春 新大阪吹田大会での課題研究と公開講座
 - ・2026 年秋 鳥取大会での課題研究
 - ・2026 年秋 公開講座（研究・広報両部門共同開催）
 - ・2027 年春 玉川大会での課題研究
 - ・2027 年春 公開講座（広報部門へ完全移管）

○企画

- ・2026 年春 公開講座：研究に基づく授業づくり④「漢文教育のこれまでとこれから」（オンライン）
課題研究：国語科教育研究の存立基盤②「〈枠組み〉としての教科」
- ・2026 年秋 公開講座：研究に基づく授業づくり⑤「説明文の授業づくり（仮）」（オンライン）
※大会会期から離して開催
課題研究：国語科教育研究の存立基盤③「〈立脚点〉としての学会（仮）」

(4) 出版部門（奥泉理事・住田理事）

- ・課題研究報告書、公開講座ブックレットの編集状況
- 実施済みの課題研究と公開講座は入稿終了。刊行遅延解消を出版社へ働きかけ、執筆者へは校正協力依頼を継続する。

(5) 大会部門（児玉理事・山元理事）

- ・新大阪吹田大会、鳥取大会での託児所開設
- ・鳥取大会の会場運営（発表受付数・懇親会・日程・発表申込開始日）
- 鳥取大会の運営詳細は、随時 HP にアップ予定。

(6) 広報部門（長田理事）

- ・学会通信 2026 年度第 1 号の発行
- ・学会 HP への掲載（理事長挨拶、新役員、地区活動、大会情報、議事録等の充実）

(7) 教科教育学コンソーシアム（山元理事）

- ・3 月 8 日（日）第 6 回シンポジウム（広島大学）
- ・5 年間の成果『越境する教科教育学（仮）』刊行予定

2. その他

- ・教職大学院への移行に伴う対応検討ワーキンググループ（理事長）
『教職大学院化の動向を見据えた今後の学会施策検討 報告書—アンケート結果
(2024.12)を踏まえて—』刊行……学会 HP 上で報告書公表済
- ・上の報告書をもとに大会等の持ち方検討（※審議事項 1.にも関連して）
- ・記念行事（※100号・150回記念を行わないことの確認）

以上